

昨年度の取組とその成果

- 基礎・基本の徹底
  - ・授業・朝学習・放課後学習等で児童の実態を把握し一人ひとりに合った指導を行った結果、算数の基礎的・本質的な理解が向上した。
- 家庭学習の充実
  - ・学習時間の確保と自主学習や読書を推進を図った。
  - ・伝え合う力の向上
    - ・算数科の授業研究を中心に様々な教科で自分の考えを分かりやすく伝えたり相手の考えを受けとめながら話し合い考えを深めたりする力を伸ばすことを目指した。少しずつではあるが、順序立てて自分の考えを説明したり相手の考えを受けて発表したりできるようになってきている。

本校の課題

平成26年度の全国学力・学習状況調査の結果はすべて全国平均を上回る好結果だったが、2名の6年生の能力によるところも大きい。全児童7名も個人差があり一人ひとりの実態を的確に把握し、個に応じた指導を効果的に行うことが求められている。

算数や国語の基礎的・本質的な理解は、授業だけでなく、朝学習・放課後学習・ホリデイチャレンジ学習等多くの学習機会を設定し繰り返し学習しているからこそ多くの児童も一定のレベルまで達していると言える。継続が必要である。

家庭学習は、宿題はしているもの自ら進んで学習する習慣が十分身につけていないといえない。

少数のため分かれやすくなり伝えようという意識が希薄になりやすい。また、多くの児童が自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることが難しいと感じている。「伝え合う力の向上」に向けたさらなる取組が必要である。

課題解決に向けた今後の取組

＜すぐに取り組む内容＞

- ・全国学力・学習状況調査の結果については分析を行った上で、誤答のあった設問についてつまずきの原因を明らかにし、再度問題を解くなど理解を深めておく。
- ・朝学習の充実…算数は自分の間違った問題を繰り返し学習できるようなシステムにして自分の苦手を克服できるようにする。
- ・放課後学習・ホリデイチャレンジの充実…到達度テスト等の活用や個のつまずきに合わせた課題の準備
- ・基礎的・本質的な知識・技能の定着等…定期的に小テストを実施し、児童のつまずきをきめ細かく把握し、個に応じた支援を行う。フラッシュ型教材を効果的に活用し、既習事項を確認したり知識・技能の定着を図ったりする。

＜中・長期的に取り組む内容＞

- ① 授業改善・授業の充実
  - ・授業研究を中心に据えた校内研修の実施…全員が研究授業を行ったり管理職が授業観察したりすることを通して授業改善を図る。「伝え合う力の向上」に向けてあらゆる教科・授業に積極的に書く活動を取り入れ、自分の考えを整理したり書いたことをもとに効果的に伝えたりできるようにしていく。
  - ・岡山型学習スタンダードの積極的活用し、授業づくりや学習基盤の確立について絶えず共通理解を図っていく。
- ② 家庭学習の充実
  - ・各学年で設定した学習時間を達成できるように、家庭学習の内容を工夫し基礎基本の定着と自主学習の促進を図る。

保護者・地域へお願いすること

保護者の協力を得て、家庭学習習慣の確立を図る。  
地域の人材をゲストティーチャーとして活用し、一緒に活動しながら自分の考えを深めたり分かれやすくなり伝えたりできるようにしたい。地域の人材を活用し、ホリデイチャレンジ学習の際の児童への個別指導等を充実させる。

具体的目標

何を	どこまで	いつまでに	どのような方法で	達成状況(12月末日現在)		次年度への改善点
				説明及び課題	達成度	
基礎・基本の徹底	国語・算数において全児童が市販テストや小テストにおいて8割以上。	2月末	・授業・朝学習・放課後学習等での理解度のきめ細かい把握と個に応じた指導	説明及び課題	達成度	
伝え合う力の向上	国語・算数において自分の考えを言ったり伝えたりする活動を重ね、「話す・聞く」のアンケートで全員が成果が発表できるようにする。	2月末	・朝の会でのテーマを決めたスピーチ ・全員研究授業実施 ・全教科で書く活動の重視	説明及び課題	達成度	
家庭学習の充実	学年に応じた学習時間を全児童が達成できるようにする。	2月末	・家庭学習の内容を工夫し基礎基本の定着と自主学習の促進を図りながら、学習時間を確保する。 ・家庭学習の手引きの活用	説明及び課題	達成度	

※ 達成度…「A:目標を大きく上回った(100%超)」「B:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「C:目標をあまり達成できなかった(30%以上70%未満)」「D:目標を達成できなかった(70%以上85%未満)」「E:目標を達成できなかった(30%未満)」